

氷河流出推定のための氷河台帳作成プロジェクト (GAMDAM) 進捗状況 Status of Glacier Area Mapping for Discharge in Asian Mountains Project

坂井 亜規子^{1*}, 縫村 崇行¹, 永井 裕人¹, 小澤 亜紀³, 藤田 耕史¹, 谷口 圭輔¹, 津滝 俊¹, LAMSAL Damodar¹, 岡本 祥子², 保科 優¹

Akiko Sakai^{1*}, Takayuki Nuimura¹, Hiroto Nagai¹, Aki Kozawa³, Koji Fujita¹, Keisuke Taniguchi¹, Shun Tsutaki¹, Damodar LAMSAL¹, Sachiko Okamoto², Yu Hoshina¹

¹ 名古屋大学大学院環境学研究科, ² 理化学研究所, ³ 名古屋大学地理学教室

¹Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University, ²Riken, ³Department of Geography, Nagoya University

近年温暖化の影響で、山岳氷河の縮小は海水の熱膨張に次いで海水準を上昇させる要因として注目されている。また山岳氷河は水資源としてだけでなく、河川流出の温暖化による山岳氷河の消失が河川水の減少をもたらすことが懸念されており、特に乾燥域では水資源としての氷河の役割は大きい。

氷河からの流出量を見積もるには、氷河面積の正確な高度分布が必須であるため、GAMDAM プロジェクトではアジア高山域における氷河からの流出推定を目的に氷河のマッピングをおこない、「数値標高付き氷河台帳」を作成し、氷河変動に伴う氷河からの流出変動を推定するのが目的である。

今回の発表では、現在マッピングが終了した部分についての氷河面積標高分布の解析結果について発表します。

キーワード: 氷河, 流出

Keywords: glacier, discharge